

# Web Usability & Accessibility

## 18 環境省サイト



アクセシビリティ分析担当  
**濱田英雄**  
(株)ユーディット 主任研究員  
hamada@udit-jp.com



ユーザビリティ分析担当  
**石田直子**  
ユーディット 研究員  
naoko@udit-jp.com

(株)ユーディット  
URL <http://www.udit-jp.com>  
「情報のユニバーサルデザイン」を目指し、アクセシブルなWebの制作やコンサルティング、高齢者や障害者も利用できるユニバーサルデザインの情報環境、製品の調査などを行っている。

### 長すぎる文章リンクが大きなマイナスポイントに

「環境の保全と良好な環境の創出」を使命にかけ、地球に優しい国土づくりを目指す環境省。光化学スモッグや河川・海岸の水質汚染が話題になる夏場には、同省のWebサイトを訪れる人も多だろう。ここではどのような形で政策・活動や環境問題に関する資料・情報を提供し、利用者にやさしいWebづくりをしているか。Webの「ユーザビリティ&アクセシビリティ」の監視人、濱田・石田両氏が、環境省サイトを測定する。

#### ユーザーや目的別の入り口を用意するには

ユーザーの年齢や職業、目的によって、Webページを使いやすいと感じる要件は異なります。環境省の場合を考えてみても、ユーザーは夏休みの宿題で調べ物をした子どもから、ISO14001の事例を調べたい企業人まで多岐にわたります。

サイトの構成として、トップページにユーザー特性に合わせた入り口を設けるという方法があります。サイトを訪れるユーザーの目的、あるいはタスクが明確な場合には、目的別の入り口を用意します。ただし想定されるタスクが掴みきれない場合は、より大きな切り口で対応します。たとえばメーカーサイトなどに見られる、企業向け情報/個人向け情報などがこれにあたるでしょう。各入り口の特性に合わせて、統一感を損なわない程度に内容や表現を変更していきます。

しかし、「企業向け」「個人向け」という入り口だけ用意して、サイトの全体像が見えないようになるとユーザーは不安になります。トップページではサイトの概略を掴めるようにするのが必須です。またターゲットユーザーの分類や目的が定義できないままに実施すると、かえってわかりにくくなります。

さらに、こうした入り口は必ずしもサイト運用や管轄部門の区分とは一致しないものです。サイト設計時からユーザーのタスクを予想し、どのような情報をどんなユーザーにどのような形で提供するのかを明確にすれ

図1 <http://www.env.go.jp/>



#### ユーザビリティ総合評価 ★★★★★

一口コメント 環境をイメージしたきれいなデザインと、ユーザーを意識した細かい配慮に好感が持てます。しかし情報をたくさん伝えたいという思いが空回りし、サイトをごちゃごちゃにさせているようです。

#### アクセシビリティ総合評価 ★★★★★

一口コメント これまでの連載の中で、珍しくALT属性のついていないところが多いサイトで、文字画像の多さとともに評価を下げました。

ば、入り口はおのずと見えてくるでしょう。

#### これだけはクリアしたい アクセシビリティガイドライン

最近Webの世界でも少しは知られてきたアクセシビリティですが、ガイドラインを探すといくつもあり、それらを合わせるとおよそ200項目にもなります。

しかし、これだけ配慮すべき項目が数多くあると、「とても全部は対応できないので、とりあえず何かから手をつけたらよいのか教えてほしい」という要望をたびたび受けます。使う人のことを考えてガイドライン作りをしている立場からは、どの項目も重要で選ぶのはむずかしいのですが、6項目をピックアップしてホームページに載せました。

「Webのアクセシビリティ」

<http://www.udit-jp.com/web/index.html>

- ① 画像にはALT属性をつけること。
- ② リンクボタンになっている画像のすべてにALT属性を使ってリンク先を明確にすること。
- ③ 日本語のページでは外国語の乱用はせず、誰にでもわかるように配慮すること。
- ④ 色によって伝えられる情報は色がなくても情報が伝わるようにすること。
- ⑤ HEADにつける<TITLE>は内容がわかるように適切なタイトルをつけること。
- ⑥ レイアウトのテーブルは情報が適切に音声ブラウザで読み上げられること。

かなり緩いのですが、基準やアイコンも用意しました。まずこのガイドラインをクリアして、アクセシビリティに関しての認識を深めてもらえればと思います。

## ユーザビリティについて (解説/石田直子)

### ユーザーにサイトの目的が伝わること ★★★

「環境省のご案内」というリンクを開くと、環境省についての説明が書かれているフレームページが開きます(図2)。ここにはたくさんのサブメニューが盛り込まれています。環境省の目的をきちんと理解するにはよいのですが、少々盛りだくさんです。サイトの目的はまずトップページで簡潔に環境省の役割や業務などを説明しましょう。

### 全体像がトップページで把握できること ★★★

トップページはそれほど大きくないのですが、ごちゃごちゃした印象を受けます。文字の大きさにメリハリがないことが要因と考えられます。大項目とこれに属するピクスの文字サイズには差をつけましょう。新着情報などの文章リンクが長すぎます。文書のタイトル上仕方ないことかもしれませんが、これではサイトを見にくくして逆効果です。トップページの新着情報は簡潔な文章にするか、別のページに用意すべきでしょう。画面下部の総合案内以下はきれいにまとまっています(67ページ:図1-①)。

### デザインや構成が統一されていること ★★★

トップページから次の階層にはきれいにデザインされたヘッダが用意されています(図3-①)。しかしこれも一部のページ、または第3階層目からは継承されていないところが見られます。デザインだけ統一すればよいというものではなく、重要なのはタイトルなどの基本的な情報や必要なナビゲーションの位置が全画面で統一されていることです。

### 必要な情報が適切な場所にあること ★★★

トップページの項目がサイト全体共通のメニューという認識ではないようです。その中の一部がヘッダに反映されていますが、トップページの項目のうち、主要な目次(グローバルナビゲーション)に入る項目がどれなのか、ユーザー側には区別が付きません。とくにトップページの左側(67ページ:図1-②)はサイトの目次を示すためによく使われますが、ここではグローバルナビゲーションに入らない項目が多いようです。

### 次の動作がわかりやすいこと ★★★

図1-①の各項目は環境省の各局が担当しているページへのリンクとなっています。部局名をそのまま使わず、「～対策」「～保全」という名称に変更してわかりやすくしている点は評価できます。しかしこのページを開くと(図3)、デザインこそ統一されているもののそれぞれのページに「新着情報」があり、個別に運用している感が否めません。

また、これらのページはだらだらと長く続いていてナビゲーション性に欠けます。サブメニューの中ではグローバルナビゲーションのほか、ローカルなナビゲーションを用意したほうが使いやすくなります。

### 予想されたフィードバックが返ってくること ★★★

新着情報の最後に小さなアイコンがついています(67ページ:図4)。このアイコンは、新着情報がどの部局のページからのものかを示すようです。どこが担当する情報かを示すアイデアはよいのですが、それを一言書いておかないと、ユーザーには意味が伝わりません。意見募集のメールは「MOEメール」と読んでいます。普通のメールと同じであれば名称を変更する必要はありません。逆に違いがあれば明記しましょう。「MOE」という言葉の意味も書かれていません。

図2

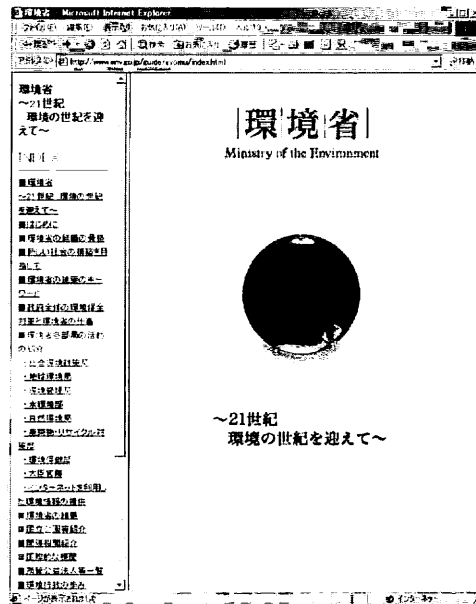
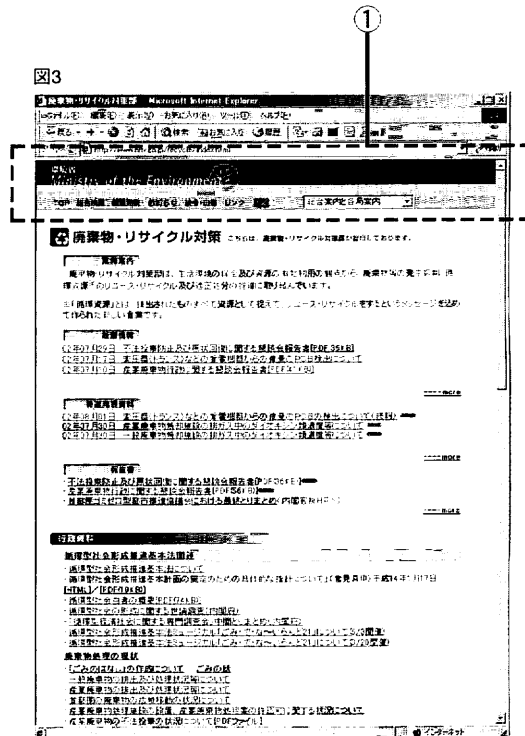


図3



## アクセシビリティについて (解説/濱田英雄)

図5

◆02年08月02日 地球環境保全のための森林保全整備に関する協議会(第3回)議事次第・資料

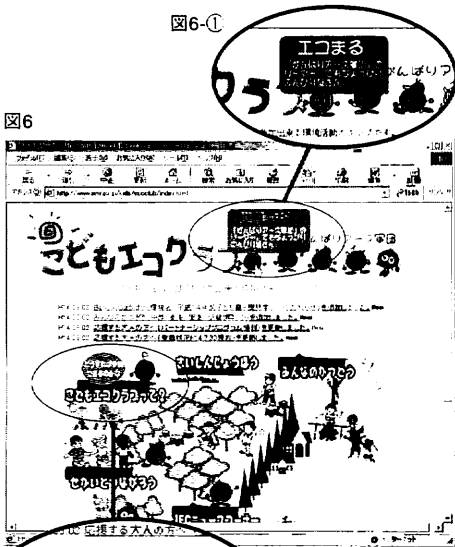


図6-①

ワーク



図6-②

図7-①

社会案内と各部署案内  
 社会案内  
 社会環境政策  
 地球・国際環境協力  
 環境省のイライチ対策  
 大気環境 自動車の排  
 水・土壌・地盤環境の保  
 持管理 化学物質管理  
 自然環境 自然公園

図7

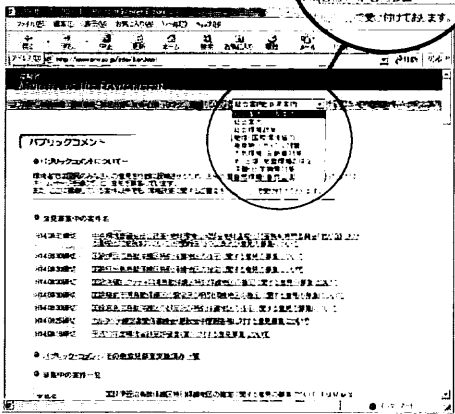
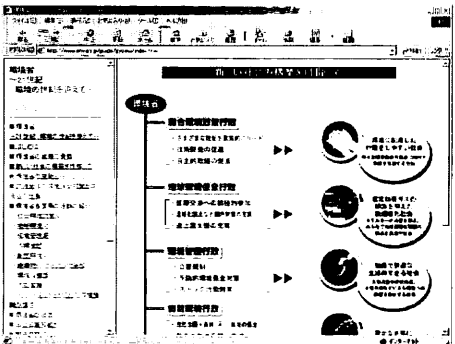


図8



画像にはALT属性をつけること ★

文字情報を画像にしている箇所も多く、ALT属性がついていないところがあります。

外国語の乱用はしないこと ★★★

わかりにくい英語はあまり使われていないと思います。

<title>タグは的確につけること ★★

表示できない程長いタイトルや、フレーム構成の中には適切でないタイトルもあります。

背景と文字色はコントラストがあること ★★★

背景と文字色とが同系色で見にくいところがあります。

フレームの使用は必要最小限にすること ★★★

目次のためのフレームは使われていますが、許容範囲内だと思います。

新しい技術には代替手段を用意すること ★★

一部のページでJava Scriptによるリンクがあり、ALT属性がなく音声ブラウザでは情報がうまく伝わらないページがありました。

その他

### 【トップページ】

#### ●リンクの指定の問題(図5)

一般的な音声ブラウザでは、テキストを男性の声で、リンクは女性の声で読み上げることで情報をわかりやすくしています。

トップページ一番上の「新着情報」ですが、本文全部にリンクが張っており、その後のアイコンには管轄部署へのリンクがあります。

#### 02年08月02日 地球環境保全のための森林保全整備に関する協議会(第3回)議事次第・資料【アイコン画像】ALT/自然環境・自然公園

これを音声で読み上げると、全部にリンクが張ってあるため、本文へのリンクが管轄へのリンクなのか、わかりにくくなっています。このような場合、読み上げる男女の声の違いを利用してリンク指定をするとういでしょう。

#### 02年08月02日 地球環境保全のための森林保全整備に関する協議会(第3回)議事次第・資料【アイコン画像】ALT/自然環境局へ

こうした、「02年08月02日……」を女性の声で「議事次第・資料」を男性の声で、管轄へのリンクアイコンのALTは女性の声で読み上げることになり、区切りがわかりやすくなります。

### 【こどもエコクラブ】

#### ●音声で読めない技術の問題1(図6-①)

タイトル横にJava Scriptによるマウスカーソルがあたると、吹き出しの情報が現れる仕組みがありますが、音声では情報を得ることができません。この仕組み自体もわかりにくくなっています。

#### ●音声で読めない技術の問題2(図6-②)

このイメージマップにはALT属性がついていないので、音声ブラウザではリンクするファイル名が読まれ、リンク先情報がわかりにくくなっています。また、ここにも音声で読めない吹き出し情報がでています。

### 【パブリックコメント】

#### ●プルダウンメニューの問題(図7)

プルダウン形式のメニューが多く見られるようになりました(図7-①)。実行ボタンのないこのような形式では、マウス操作が難しい人がキーボードの「Tab」+「↓」で操作する際に、「↑」「↓」キーを押しただけでリンクされてしまい、選択することができません。実行ボタンをつけた形式にする必要があります。

### 【環境省の組織の骨格】

#### ●文字情報の画像化の問題(図8)

このサイトには、パンフレットをそのまま画像化した箇所がありますが、音声ブラウザでは読めません。ALT属性で補足しても、情報が多くて難しくなります。画像ではなく、テキストで表現すべきです。このページは何も情報が得られませんでした。